

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 学校風土データを利用した不登校予防のための要因分析
	●研究の対象 2024年4月～2028年3月に子どもの発達科学研究所が行う「子どものための学校調査」「学校風土D調査」に参加された小中高等学校の児童生徒の方
	●研究の目的 いじめなどの問題は、子どもの健全な学びやこころの発達に深刻な影響を与えます。一方で、いじめのコーピングを身につけることが、いじめの予防に効果的だと考えられます。本研究では、いじめといじめコーピングの関連を調べるとともに、いじめ予防に活かすことを目的としています
	●研究の期間 研究機関の長による実施承認日から2028年3月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体を通して行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を識別するための表は浜松医科大学 子どものこころの発達研究センターの研究責任者が保管・管理します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：学校風土等に関する調査結果
《利用する者》	●機関名および責任者名

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

の範囲》	研究機関：浜松医科大学 千住 淳 共同研究機関：公益社団法人子どもの発達科学研究所 和久田学 国立大学法人大阪大学 西村 倫子 明治学院大学 足立匡基 国立大学法人東北大学 高橋芳雄 早稲田大学 平田 郁絵 既存試料・情報の提供のみを行う機関： 品川区教育委員会事務局教育総合支援センター 丸谷 大輔 吹田市教育委員会学校教育部学校教育室 速水 亮仁
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、あなたの試料または情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、《問い合わせ先》をご確認ください。
《資料の入手または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	部署名： 子どものこころの発達研究センター 担当者： 猪原裕子 TEL： 053-435-2331 E-mail： ibara@hama-med.ac.jp
--	--